

待機電力カットで省エネ

- ★テレビやオーディオなどの AV 機器、パソコンなどの OA 機器は、使用したあとは主電源を切りましょう。プラグを抜くと、待機時消費電力カットに、より効果的です。
- ★お湯を使わない時には、給湯ボイラの電源を切りましょう。特にガス化燃焼方式の給湯ボイラの待機電力消費量が、比較的大きいと言われています。お湯を使った後には、こまめにスイッチを切りましょう。

季節にあった家電の使い方で、省エネ

- ★暖かくなったら、暖房便座の設定温度も春夏モードに。
- ★使わない期間は、ストーブやセントラル暖房の主電源も、オフに。

24 時間年中無休、冷蔵庫の省エネ

- ★置き場所、使い方に気をつけて！
 - *背面・側面は、壁から離して、置きましょう。
 - *直射日光の当たる所を避けるか、すだれなどの日よけを。
 - *冷蔵庫にもものを詰め込みすぎないようにしましょう。特に、冷気の吹き出し口はふさがないように。
 - *開閉回数、開閉時間をなるべく減らすようにしましょう。



- ★買い替えの際には、省エネタイプを！
- *★の数や、年間の電気代をチェックしましょう！

暖房の省エネのための基礎知識

北海道地球温暖化防止活動推進員
宮森芳子さんのお話から

- ★暖かさを感じるためには、温度以外にも大切な要素がある。
温熱四要素：温度、湿度（乾燥しすぎは寒く感じる）、気流、輻射熱
- ★窓の断熱が大切
冬場、窓などの開口部から逃げる熱は、全体の約5割。特に、窓から逃げる熱を減らすのがポイントになってきます。窓から熱が逃げると、気流が生まれ、よけい寒く感じます。
 - *冬場は、厚手のカーテンに交換したり、突っ張りポールなどを利用して、もう1枚カーテンを追加
 - *床まで届く長めのカーテンや、カーテンボックスが、効果的です。
 - *昼間は、南向きの窓から陽光を取り込み、夕方は、早めにカーテンやブラインドを閉めて、暖かさが逃げるのを防ぎましょう。窓の下部分に、風よけのボードを置くのも効果的です。
- ★時間帯や場所によって、設定温度を変えてみる。
 - *就寝時は少し低めの設定温度にするなど、生活スタイルに応じた温度設定を工夫しましょう。
 - *普段使用しない部屋は、結露などの心配のない16~18℃程度に保つことで、省エネ。

省エネのヒント満載・ふたりではじめる『環のくらし』 <http://www.wanokurashi.ne.jp/mat/catalog4.html>

省エネルギーセンター・省エネ住宅のページ <http://www.eccj.or.jp/scnet/index.htm>

北海道経済産業局 「灯油節約のツボ」 <http://www.hkd.meti.go.jp/hokno/setsuyaku/index.htm>



照明の省エネ

- ★使わない部屋の灯りはこまめに消しましょう！
- ★白熱電球を電球型蛍光灯ランプに替えると、最大で80%の省エネ。